



## 「アットホームな学校ですね」

9月29日、「学校訪問」がありました。例年、西部教育事務所と三豊市教育委員会の方が訪問されますが、今年は香川県教育委員会の八木教育次長さんも来校されました。八木次長さんは文部科学省から香川県教育委員会にいられている方で、これまで学校現場を見られたことがあまりないため、ぜひとも生徒や先生方の姿を見たいとのご希望から、今回の訪問に至った次第です。そして、午前中のすべての授業をご覧になられた後で、次のような感想をいただきました。「アットホームな学校ですね。先生と生徒が一緒になって学んでいるという感じがしました。また、教室の掲示物を見ていると、タートルノートのページ数が張られていたり、カメラ検の結果がグラフ化されていたりと、特色ある取り組みがよくわかりました。さらに、イ〜なカードがいいですね。私はこのようなカードを書こうとしても、なかなか書けないかもわかりません。でも、内容も大事ですが、書くために考えるということが大切なのですね。わずか半日でしたがとても勉強になりました。ありがとうございました」。きっと八木次長さんにとっても、思い出に残る学校訪問になったと思います。

また、その他にもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

三豊市教育委員会の臼杵教育長さんは、「朝のあいさつ運動には驚きました。あれだけの人数のあいさつ運動はこれまで見たことがありません。また、廊下ですれちがっても大きな声であいさつをしてくれました。AKB351が徹底されている感じがしました。2分前着席もよくできており、できることを確実にやろうとしている様子がうかがえました。また、授業では、班活動が多くありましたが、班を作るのが早い、机をきちんとひっつける、男女関係なく話ができているなど、とても感心しました」

西部教育事務所の三野所長さんは、「躍動と確かな歩みを感じる学校です。経営説明の資料にある学校通信や、体育祭後の保護者アンケートの感想などからも、生徒の様子がよくわかるとともに、学校の工夫が保護者や地域の方々によく理解されていることもわかりました。子どもの将来に夢が描ける学校ですね」

また、給食を食べながら、体育祭の様子をまとめたDVDを見ていただきました。ご指導いただいた指導主事の先生から「生徒たちの笑顔はもちろんですが、いつも先生がそばにいることに感動しました。どの子も大切にしたいというかわかりができていますね」「体育祭のビデオを見せていただいたのは詫間中学校だけです。生徒たちの活躍の様子がよくわかり、とても感動しました」などの感想を言っていただきました。

朝、訪問された方々に対するあいさつの中で、校長として、「昨年は先生と子どもたちの笑顔を見てくださいと言いましたが、今年は先生と子どもたちとのかかわりを見てください」と自信を持って言いました。そして、すべての授業を見て回りましたが、まさに先生方が生徒たちとしっかりかかわりながら授業をしている様子が見え、とてもありがたく思いました。この紙面ですべての授業を紹介することはできませんが、右に紹介した授業風景の写真からも、先生と生徒が一緒になって学習している様子、先生が生徒に寄り添って教えている様子、生徒の出番がありみんなで学んでいこうとしている様子などがよくわかると思います。大満足の日でした。

